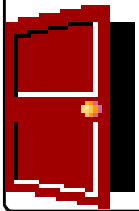


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No75

桑村小学校令和6年1月15日 文責 渡邊

読書が与える効果と表現のつながりとは!!

新興出版社のホームページに、「小学生に読書が与える効果とは？」というタイトルで、読書の効果についての記事が掲載されていました。

前回の本読書通信(No75, R6. 1. 12号)で、読書から感じたことを自分なりに表現することの大切さについて紹介しました。

何と本ホームページでも、同じような意見が掲載されていたので紹介します。それは、「成績が上がる小学生の読書術」というタイトルの中の、「2. 読書後は感想をアウトプットして定着率を高める」という見出しの中にありました。

「うちの子は読書をするけど成績は良くない…」とお悩みの親御さんにはアウトプット法をおすすめします。本を読み終えて「面白かった」「感動した」と思っても、脳の構造的に時間が経つと内容を忘れてしまいます。読書でインプットした知識は感想をアウトプットすることで、内容を忘れなくなる効果があります。

読書のアウトプットには読書日記をつけたり、感想を話し合っ共有するやり方があります。読書日記は読書感想文のような長文でなくても、3行程度のコンパクトな感想文でも問題ありません。自分の言葉で書き残すことで表現力も豊かになり、定着率が高まるのです。

読書後にアウトプットすることで、学習内容の定着率も良くなり、成績アップにつながります。最近では、可愛いキャラクターが付いた読書日記や読書ノートも市販されているので活用しましょう。気に入ったノートがあると、読書をしたい気持ちも高まり、楽しくアウトプットできるようになります。

また、親子で同じ本を読んで、読書後に感想や面白かったポイントを話し合うのも効果的です。本をトピックにして親子の会話を楽しむことで、アウトプットの練習になります。(新興出版社HPより)

昨年度、本校では、「小さな学校の『強み』を土台に、自然に恵まれた学習環境を生かした体験活動と読書活動をつなぎ、『豊かな感性』と『深い思考力』の育成」を研究テーマに取り組み、大きな成果を上げることができました。

本年度は、昨年度の研究を発展的に持続することをねらい、「読書体験と表現活動を柱に『豊かな感性』を育む教育活動の創造～学校、家庭、学校運営協議会(地域社会)とのつながりを大切に～」をテーマに設定し、取り組んでいるところです。

この研究で大切にすることは「感性」の育成についてです。感性を育むには、自分が外界から受けた様々な刺激を自分ごととして感じ取り、深く考え、その思いをつないで新たに形成した意味を自分なりに表現することを重視したのです。

これからも読書体験と表現活動をつないだ取組を大切にしていきたいと考えます。



【読書を楽しむ子供たちの姿】